

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 29 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名： 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：後藤 治 主 査 名：大野 敏
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・民家の調査研究から集落・都市の未来を模索していく ・2016 年度大会研究協議会「民家における近代化の様相」企画 ・同上大会競技会開催へ向けた研究活動推進と資料作成。 ・民家研究実績に関する資料収集・整理。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：2015 年度に公募で 1 名委員を加えて、定員 15 名を有している。	
	主査：大野敏 (横浜国立大学) 幹事：大場修 (京都府立大学)、溝口正人 (名古屋市立大学) 委員：安高 尚毅 (島根大学)、長田城治 (郡山女子大学)、角 幸博 (北海道大学 名誉教授)、黒坂貴裕 (文化庁参事官付(建造物担当))、土本 俊和 (信州 大学)、西山和宏 (奈良文化財研究所都城発掘調査部)、平山育男 (長岡造 形大学)、福井 宇洋 (前福井大学)、三浦要一 (高知県立大学)、御船達雄 (和歌山県文化遺産課)、山田由香里 (長崎総合科学大学)、渡邊美樹 (足 利工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2015 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：現在休止中 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	1. パネルディスカッション「もう一つの「民家」の系譜—付属屋と小屋」 (資料名) 同 上 参加者数 47 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 2015 大会パネルディスカッションは資料集作成も含めて成果をおさめた。 2. 2016 大会研究協議会に「民家の近代化」テーマが採択され、連続して大会行 事に参画できることは、委員会活動が健全に進捗していると認識している。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 全員が集まれる機会がない。 2. 民家研究史のとりまとめ作業の推進。 3. 民家研究活動と保存活用 (啓蒙) 活動とのバランス。